

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-III-3

5-III
-3

| | | | | |
|-----------|--|--|------|---|
| 章 | 第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり | | 取組項目 | グリーン・ツーリズム等の推進 |
| 節 | Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信 | | 事業主体 | 佐渡市観光振興課 |
| 事業(施策)名 | 3 グリーン・ツーリズム普及促進 | | 関連団体 | 県観光企画課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、佐渡市農業政策課、県観光協会、佐渡観光交流機構 |
| 事業実施期間 | H28～R4 | | | |
| 事業概要 | <p>【事業目的】 ○都市住民の多様なニーズに対応したグリーン・ツーリズムの推進により、滞在型観光客の増加とリピーターの確保並びに農村環境の整備と地域活性化を図る。</p> <p>【事業内容】 ○関係機関と連携を図りながら、コンテンツ(プログラム)の明確化を図り、ターゲットを絞った戦略的な広報を行う。</p> | | | |
| 30事業計画と実績 | <p>【30年度計画】 ●小学校を対象とした農山漁村受け入れ体験を推進し、農山漁村宿泊体験を300人予定する。 ●滞在型観光コンテンツを佐渡さんぼ等でPRする。</p> <p>【30年度実績】 ●佐渡観光交流機構と連携し、13校307人の農山漁村民泊受入を行った。 ●長野県、福島県、新潟県で教育旅行ガイドブックを活用したセールス活動を行った。</p> | | | |
| 課題・今後の取組 | <p>【課題】 ■高齢化により、民泊受入先が減少している。 ■満足度を上げる体験プログラム造成や受入ホストの育成が必要である。</p> <p>【今後の取組】 ■引き続き、観光交流機構と連携し、セールス活動を行う。</p> | | | |
| 事業評価 | <p>【事業の達成度】 ◇当初計画どおり事業を実施したことからBとした。 [a ○ b ・ c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a ○ b ・ c]</p> <p>【総合評価】 [A ○ B ・ C]</p> | | | |

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。